



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2000年10月1日発行 第25号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

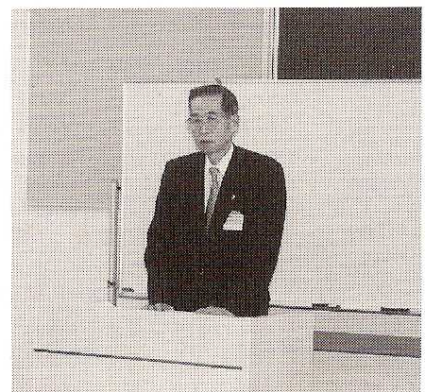
2000年度定期総会開かれる

2000年度の定期総会は、去る7月7日（金）台風3号が近づきつつある中、午後3時より横浜駅西口三越デパート裏手にある、県民活動サポートセンターの711号室に30名余の会員の参加を得て、齋藤副会長の司会で開催された。

まず最初に下山会長の挨拶があり、つづいて議長の選出、そして議事に入った。はじめに1999年度の事業報告、同決算報告につづき、監査報告があった。さらに、すでに事前承諾事項として、事業が推進されている2000年度事業計画、同予算の説明があり、いずれも全員賛成で可決された。

また、本年度は役員改選の年にあたり、これらの議事についても全員の賛成を得て承認された。

本年度の総会は、当協会創立10年の節目の年であり、この記念イベントとして、4月にはロング市よりお客様をご招待し、また6月にはスペイン映画の自主上映会が実施されたり、おりしも総会会場の1階ホールでは、会員の作品展である「私たちのスペイン展」が開催中であり、しかも総会当日にはまさに最大イベントともいえる、創立10周年フィエスタが、横浜ベイ・シェラトンホテルで開かれるとあって、2000年度事業計画は、かなりの部分ですでに進行中という変則な状態ではあったが、会員一同の理解と、協会を盛り上げていこうとする気持ちが一つになったものとなった。



▲挨拶をする下山会長

———— 新役員紹介 ————

去る7月7日の2000年度定時総会で、新役員が下記のとおり承認された。なお、今年からは執行部の規模が多少縮小されたが、役員を担当制とした。新役員はそれぞれが、さらに会運営の充実をめざす努力をする決意を新たにした。

会 長 下山 貞明（再任）

副 会 長 植田 伊津（再任）

副 会 長 齋藤由基彦（再任・財務担当）

常務理事 飯塚 勲（再任・企画担当／事務局兼任）

理 事 池本 三郎（再任・桜植樹担当）

理 事 上野 淑子（再任・総務担当）

理 事 寺原 瑛子（再任・スペイン語教室担当）

理 事 伴野 芳信（再任・広報担当／事務局補佐）

理 事 西丸 與一（再任・総務担当）

理 事 三崎 輝夫（再任・広報担当）

理 事 宮崎 紗伎（再任・事務局担当）

監 事 井口 孝利（再任）

監 事 廣瀬 勝亮（新任）

創立10周年記念フィエスタ 盛大に開催

10年前の七夕の日に創立された当協会は、20世紀最後の年にあたる2000年の七夕に、ちょうど10周年を迎えた。

この日はあいにく台風3号の来襲があり、星空とはいかなかったが、スペインから、また日本全国からお客様を迎え、J R横浜駅西口前の横浜ベイ・シェラトンホテル日輪の間で、午後7時から華やかに、そして盛大に「創立10周年記念フィエスタ」が開催された。

湘南ゾリスデン弦楽四重奏団によるスペイン国歌演奏で、約200人のフィエスタ参加者が当協会名誉会長、ホァン・レニャ駐日スペイン大使ご夫妻を会場にお迎えした。

来賓には前駐スペイン大使で当協会顧問の坂本重太郎氏、スペインのロンダ市から招待した画家で彫刻家のホセ・カベサ・ディアス氏、宮城スペイン協会の早川会長他3名の方々、関西スペイン協会の岡本事務局長他6名の方々をはじめ、スペイン在住の日本人の方、日本在住のカタルーニアの方等々、まことに国際色豊かであった。

下山貞明会長の10年の歩みを含めた挨拶に始まり、ホァン・レニャ駐日スペイン大使、来賓代表として宮城スペイン協会会長の早川二郎氏のご挨拶をいただき、坂本前駐スペイン大使の乾杯の音頭で会場は熱気に溢れた。

力強く魅惑的な上野淑子さんによるスペインの歌、優雅な湘南ゾリスデン弦楽四重奏団によるスペインの曲の演奏、参加者全員が息を吞んで見守ったアトランタフラメンコ舞踏団によるフラメンコと、盛りだくさんのプログラムを堪能した。

最後に弦楽四重奏をバックに、当協会参与でスペイン歌曲の日本における第一人者である柳貞子さんのリードで「クラベリートス」の歌を、ホァン・レニャ大使ご夫妻をはじめ、参加者全員で大合唱した。

二時間の予定は30分オーバーし、七夕の夜に参加者全員が酔いしれ、紅白のワインをおみやげにして祝典は華やかに幕を閉じた。



▲200余名が参加したフィエスタ


~~~~~ フィエスタも成功のうち無事終了しました。~~~~~  
~~~~~ 参加者の皆さんそれぞれが感動を抱かれたことと思います。~~~~~  
~~~~~ そんな声をいくつかご紹介します。~~~~~

## 10周年記念パーティに参加して

宮城スペイン協会  
事務局長 飯淵 雅康

仙台から訪問したおのぼりさんにとってはいささか蒸し暑く、追い討ちをかけるような横殴りの雨の中、会場のベイ・シェラトンホテルに到着しました。横浜スペイン交流協会の会員の暖かい出迎えを受け、受付を済ませ会場に案内していただきました。

この度のパーティに宮城スペイン協会からは早川会長はじめ、役員3名が出席させていただき、パーティの規模の大きさ、運営の素晴らしさを肌で感じてまいりました。

下山会長、役員、会員の皆様にお礼申し上げます。

さて、貴協会と宮城スペイン協会は、いまさら申すまでもなく特に親密に交流させていただいております。

1993年に貴協会がスペイン国ロンダ市において、桜植樹の事業を始められました。そして1995年にセビリア市で行われた第2回目から宮城スペイン協会に声をかけていただき、1998年と併せて2回共同でこの事業を実施させていただきました。

宮城スペイン協会としては初めての親善事業となったこの桜植樹は、貴協会との交流の絆になっております。

1999年11月にスペインを訪れたときに（私としては初めての訪西でしたが）、セビリア市のマリア・ルイサ公園の桜の木を見てまいりました。4メートルを超えるほどに育っており、春にはもう花を咲かせているのではないかと思えました。一方、コリア・デル・リオ市の桜は、残念ながらいまだに市の圃場で養生されており、今後充分な手入れを行うなど、しっかりした管理が必要ではないかと思学してまいりました。

このように桜植樹を介して作り上げてまいりました両協会の絆をますます太いものにしていくため、貴協会と宮城スペイン協会がこれまで以上に交流を盛んにしていかなければならないと思っております。

宮城スペイン協会は、貴協会設立の1年後に発足しており、来年10周年をむかえます。この度出席させていただきましたことを参考にし、記念パーティの準備を進めてまいります。

最後にこれからの20周年、30周年に向けて、貴協会がさらに飛躍されますことをご祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。



▲宮城スペイン協会事務局長  
飯淵雅康さん



# 横浜スペイン交流協会創立10周年フィエスタに寄せて

関西日本スペイン協会  
事務局 中岡 曜子

横浜スペイン交流協会の皆様、10周年おめでとうございます。その輝かしい記念のフィエスタに参加でき、皆様と親しく懇談出来たことは、私ども関西日本スペイン協会にとりまして大きな喜びです。

貴会は長年に亘り、本当にスペインのことが大好きな皆様方の熱意で活動を続けられていると伺っていましたが、この度のフィエスタを拝見し、改めてその企画力、行動力、団結力に感銘



▲関西日本スペイン協会事務局 中岡曜子さん（左端）

を受けました。会員お一人お一人が非常な愛着をもって活動に参加しておられ、お話を伺うごとにそれぞれ微妙に異なるスペインへの思いが、熱く伝わってきました。遠方から伺いましたのに、旧知の間柄のように皆様とお話し出来たのも皆様の中にあるそのような思いのお陰だと思います。

フィエスタでは弦楽奏、歌曲、そしてフラメンコを非常に高い芸術性で楽しませていただき、最後の大合唱は初めての体験でとまどいながらのご一緒に大きな声で歌わせていただきました。また、お料理に中華が出ていたのは

「横浜という土地柄を感じるね」と話し合っていました。

大変中味の濃いフィエスタであっという間に時間が経ってしまいましたが、開催までには皆様の長期に亘る大変なご準備があったこと推察いたします。

フィエスタ翌日は「私たちのスペイン展」を拝見し、ここでもまた数々の力作・秀作に感銘を受け、立ち去りがたい思いで横浜をあとにいたしました。

貴会は今後20周年、30周年に向け、益々のご発展をされることでしょう。私ども関西日本スペイン協会は来年2001年に10周年を迎えますので、貴会の一つ違いの弟（妹？）として今後とも末永く交流をさせていただきたいと思っております。

関西の空より会員の皆様方ご健勝と益々のご発展をお祈りいたしております。

—— 会員投稿 フィエスタに参加して ——

## ¡Qué alegría!

—— 内 藤 佳 子 ——

2000年というミレニアムの年にA I Y E S創立10周年の“Fiesta”にフラメンコの仲間とセビージャの“Feria”（春のフェリア）の衣装で出席しました。

この“Fiesta”は私の人生観、価値観そしてこれからの生きざまを考える起爆剤と成った事を感謝しています。¿Por qué? それは今、言いたくないのです。





▲フラメンコの仲間たちとお祝い（筆者下山会長左隣）

皆さん和気あいあい、とても家庭的なパーティでびっくりしました。会長さんが私達のテーブルにいらして“今日は会場に華を添えて下さってありがとう”とお礼を言われ、スペイン交流協会の暖かさに感動しました（ただ着ているものが華やかだったただけなのに）。

フラメンコ歴 8 年（49歳）

ミチコ・メメの踊り“Tango de Málaga”は色気たっぷりで私の魂を心地良くゆさぶり、メメさんにヒターナのプライドを全身で感じました。私も早く自己表現の出来るバイラオーラになりたいです。

女流画家（ケイ子さん）

アトラクションが長すぎて少々疲れた。歌、踊りの合間に交流の場があっても良かったのでは？ ネームプレートが用意されていたのは、その為では？ 各テーブルに椅子が2～3脚ほしかったわ。でもお食事は大変美味しく満足。ありがとう。

以上の声を聞く事ができました。

お土産の赤白ワインは7月20日海の記念日に友人達と美味しく戴きました。

A I Y E S にサルー！

一度しかない人生、元気に、明るく、楽しく、華のある生き方をモットーとしています。A I Y E S と共に私のスペイン語とフラメンコも成長していきたいと願って筆を置きます。



▶アトランタフラメンコ舞踏団が参加者を魅了

“Fiesta”の翌日、フラメンコのレッスン場で“昨日はおつかれさま。帰りは大雨で大変でしたでしょう？ みなさん楽しかった？”

介護士（26歳）

何ととっても初めてスペイン大使ご夫妻に逢う事が出来て、すごく感激したわ。いつもお年寄り相手の仕事をしている私達にとっては遠い存在の方だし。昨日はエネルギーをたくさん充電したから明日からまた介護に頑張ります（¡olé, olé!）。

イタリア刺繍の先生



## すばらしかったフィエスタ

—— 宮 川 美 匂 子 ——

七夕の夜、台風の中、10周年記念フィエスタが開催された。

はじめに下山会長が挨拶された中で、スペインに植えた桜が順調に育っていることを報告された。機会を得て、今年4月末ロンダに行き、アラメダ公園の桜の木を見てきたことを思い出す。春田美樹記念碑近くの桜はちらほら花をつけていた。若木も方々に植えてあったが、各々良く世話をされており、ある木は添木をし、ある木は回りの草をきれいに刈って条件の良い場所に植えてあった。若い木々を苗床に育てているとも聞く。ロンダの方々が横浜スペイン交流協会との交わりを大切に下さっている、桜の植樹を通してロンダの皆さんと私達の心が通い合っていると感じた。

宮城スペイン協会・関西スペイン協会の方々もこのフィエスタに参加された。スペイン愛好者の集いが各地にあるのはうれしい。どのような活動をしているのか知りたいし、今後もおつきあい願いたいと思う。

フィエスタのアトラクションは、赤と金色のドレスに負けない情熱的な歌声の上野淑子さん、スペインを代表する最も愛されている曲の数々を演奏した湘南ゾリスデン弦楽四重奏団、そして情熱と迫力にあふれるフラメンコを踊ったアトランタ舞踊団、どれもすばらしかった。

始めから終わりまで出席されたホァン・レニャ駐日スペイン大使ご夫妻にも楽しんでいただけたことと思う。

フィエスタを企画し準備して下さいました方々、ありがとうございました。



▲上野淑子さんがスペインの歌を熱唱



▲友好の印アラメダ公園の桜の花が咲きはじめた  
(筆者撮影)



## スペイン語 青春の響き

—— 伊 藤 秀 夫 ——

私の学生時代は、ラテン音楽、タンゴなどがやたらと流行った時代で、強烈なリズムの中にも甘さと、かきりないやるせなさを秘めて、切々と心にせまるトリオ・ロス・パンチョスやトリオ・ロス・ディアマンテスなど、もうどうしようもないほどの魅力で、聞くとびに行ったこともないメキシコの、スペインとの混血女性の豊かすぎる胸にかき抱かれて、息も絶え絶えといった気分浸ったもので、スペイン語の歌詞を意味も分からないまま闇雲にくそ暗記して、いい気になって歌っていました。

何十年が過ぎて、横浜スペイン交流協会のスペイン語講座に出会い、スペイン語の歌詞の意味が少しずつ分かるにつれて、あの懐かしい甘さとやるせなさが再び心に蘇ってきました。今回の創立10周年記念行事の「私たちのスペイン展」には、会員の牧瀬さんに勧められるままに、始めたばかりの水彩画をあつかましくも5点展示してもらいましたが、ブーイングがくるかと思いきや、コピーを欲しいと言われる方が何人か現れ、皆様の優しさに、ただもう感激の涙にくれております。

夜のフィエスタでの日本人の歌い踊るフラメンコが、学生時代のようなナীবさを失いかけた心にも、なぜなおも訴えかけてくるのでしょうか。日本人とスペイン人のメンタリティーには、何か共通のものがあるような気がしてなりません。



▲湘南ソリスデン弦楽四重奏団による演奏

### 横浜スペイン交流協会会報 「AIYES通信」編集委員募集!!

会員の皆様への唯一のインフォメーションツールである「AIYES通信」は年間4回発行しています。いずれも会員のボランティアで成り立っていますが、この「AIYES通信」の新しい編集委員を募集します。

特に資格といったものではありません。会員であればどなたでも結構ですが、できればワープロのできる方を望みます。

仕事は協会が行なう各種イベントの取材と原稿執筆、原稿依頼、校正などです。ふるってご応募下さい。



# 「私たちのスペイン展」

## －入場者1,400人を超え10周年記念行事に華を添える－

7月2日（日）から9日（日）まで8日間、県民センター1階ホールで開催された「私たちのスペイン展」は協会創立10周年を記念し、過去4回実施してきた「スペイン写真展」に絵画の部と手工芸の部を加えて初めて総合的なスペインをテーマとするアート展となり大成功を収めた。

従来の写真展だけでは見られなかった会員の多彩さを見事に発揮する素晴らしい場所となり、会場はJR横浜駅から5分という利便さもあって、8日間の一日平均入場者は177人、全体での入場者は過去最高の1,417人を数えた。

展示された作品は写真の部が54点、絵画の部が26点あり、手工芸の部では、紙人形8点、押し花絵7点、その他ビスクドール、タイル絵、陶器、パッチワークと多彩であった。

上記に加え、今回の作品展の特筆すべきことは、アンダルシアのロンダ市から10周年を記念して画家で彫刻家のホセ・カベサ・ディアス氏を1週間特別招待して、彼が持参した絵の中から9点が展示され、ロンダとその周辺の景色を楽しませてくれたことである。また、バルセロナ出身の写真家で当協会のスペイン語講師である、ジュアン・ドラド・ロペス氏の作品も10点展示され、日本人にない感覚的な映像が目をつけた。

もうひとつの特別展示は、コルドバ県バエナ市の2つの小学校の低学年生の「セマナサンタの印象」を描いた30点のかわいい絵であった。これは当協会のスペイン語講座の10周年記念行事で一つの教室が今年のセマナサンタにバエナを訪問した際に市の協力のもとに横浜に持ち帰ってきたものである。それに、今年の4月に日本の桜を見学にロンダ市から招待した代表団のメンバーの一人であった、教育局長のラサンタ氏から送られてきた、横浜とロンダの友好をイメージして彼が描いた絵の写真もあり、まさに交流という名にふさわしい国際色豊かな展示会であった。

第5回目となった写真の部は年々質が高くなり、セミプロ級の作品がたくさん集まり、スペインを訪れたことがないお客様たちに魅惑のスペインをPRし、一様にスペインに是非行ってみたいとなったとの感想を頂いた。



◀会場風景 1,400人を超える人が来場



絵画の部にもプロの会員の絵を初め、緻密なスケッチ画の作品が多くみられ、スペインはつい絵筆を取りたくなる対称として魅惑的であることを物語っていた。

手工芸の部は会員のなかには実にさまざまな腕の持ち主がいるという発見の場所となった。一番多様性のある部門であり、訪れた人々がそれぞれに楽しそうに眺めていたのが印象的であった。

最終日の前日には創立10周年フィエスタが開催され、それに出席した宮城スペイン協会、関西スペイン協会の方々もフィエスタ前に会場を訪れたりして、今回の作品展は国内、国際の和気あいあいとした交流の場となり10周年にふさわしい盛会ぶりであった。

## /// 新入会員紹介 ///

**安田秀之** (Hideyuki Yasuda) 2000年7月15日入会

東京都世田谷区

スペインの音楽に魅せられて、レコードの収集をはじめてから40年。定年後の楽しみとしてスペイン音楽史を勉強しながら集めたレコードを整理し、ディスコグラフィーを作っております。

**安田美恵子** (Mieko Yasuda) 2000年7月15日入会

東京都世田谷区

1980年から約4年弱、スペインのマドリードに駐在していました。スペイン文化・美術・その他に大変興味を持ち、また大好きです。

**吉 孝也** (Koya Yoshi) 2000年7月10日入会

Las Palmas de Gran Canaria

ラス・パルマスに住んで、うん十年になります。貴協会が日西間の友好に尽力されている事は、友人から聞いておりました。今回、創立10周年記念のパーティに出席させて頂く機会を得、スペインを愛する人達の多いのに驚き、感動しました。

スペインサイドから何かお手伝い出来る事があればと考えます。

**佐藤喜一郎** (Kiichiro Sato) 2000年8月20日入会

Granada ESPAÑA

24年前60歳を迎え人生の一区切りとして、会社より1ヶ月の長期休暇を貰い、ヨーロッパ人旅のスキー旅行フランス・スイス・イタリアとスキー場巡りをしました。最後に帰国のためパリに立ち寄った際一人のスペイン人と知り合い、スペインにシエラネバタのスキー場がある事を教わり帰国を延期、そのままシエラネバタに参りました。コースのわかり安さ、危険度の殆んどないスキー場に魅せられ65歳を機会に退職以後、油絵をやっている家内と二人きりのスペイン生活、当時は未だフランコ時代の名残が多分に残っていて治安の良さは日本以上でした。永住権を取って10年、スペインの友人は年々増えつづけるのに反し、日本人の友人が年齢的に減って行くことの無情を感じる今日この頃です。



## ★★★★★賛助会員紹介（第5回）

**アマポーラ**（ルミネ6F） **アランフェス**（横浜スカイビル11F）  
（株アマポーラ） （株アマポーラ）

スペインは世界最大のオリーブの生産地で、ほとんど総べての地方でオリーブオイルが生産されているが、その個性はバラエティに富んでいる。それは各地方でさまざまな品種のオリーブが栽培されているからで、オリーブの品種や育てられた土壌・気候によって、香りも味も異なるオリーブオイルが出来あがるからといわれています。

私達は東京アマポーラ、横浜アマポーラ、スカイビル・アランフェスといったそれぞれ個性のあるスペイン料理店を展開しています。各店パエリアを中心とし幅広い年層の方々に、スペイン料理を楽しんでいただける店づくりをしています。

最近ではスペイン料理は一般の方々にも深く浸透し、ピザやスパゲティなどと同じように親しむ人が居るように思います。特にパエリアは知らない人がいないくらいだと言えるでしょう。主にイメージされるものは、魚介たっぷりのいわゆるバレンシア風ですが実際スペインに行くと地方により、また家庭によってもさまざまなものがあることに驚きます。もっともpaellaは彼女のために（para ella）というのが訛ったもので、男性が女性の為に主に日曜日のお昼ご飯につくるものだと聞いた事があります。

当店ではスペイン独特の食材にこだわらず「日本のスペイン料理」として日本の食材も生かして野菜だけのパエリアやキノコのパエリアもあります。

バスクで有名な「赤ピーマンの詰め物」では通常、鱈を使用しますが当店では鮭を使用したり、あしたばなどの昔なじみの食材も取り入れています。

一方で、スペイン生ハムの輸入解除を受け早速jamón ibéricoをメニューに加えました。スペインのことを知り尽くしている人も、スペインといえばフラメンコ？ しか知らない人も改めて日本のスペイン料理屋を楽しんで頂ければと思います。

今後も、多彩な自然とその歴史が生み出したバラエティ豊かなスペイン料理を通じて、「スペインの顔」と「スペインの食」を伝えていきたいと思っています。

※※※※※※※※

※※※※※※※※

## スペインサロンへのお誘い

秋のスペインサロンのご案内を致します。お誘い合わせの上ぜひご参加下さい。

なお、サロンは原則として毎月第3土曜日の午後2時から開催します。

■日 時：10月21日（土）14：00～16：00

場 所：神奈川自治会館 602号室

テーマ：ルイス・セボジャーダと話そう！

■日 時：11月18日（土）14：00～16：00

場 所：県民サポートセンター 712号室

テーマ：グラナダにお住まいの佐藤喜一郎さんを囲んで（予定）

■連絡先：石川美和子



## ※※※※ スペイン語講座委員会からのお知らせ ※※※※

当協会のスペイン語講座では、次の6教室を開講しております。

「楽しくゆっくりと」をモットーに、現在多くの方々がスペイン語を学んでいます。

クラスによっては、若干余裕のある教室もありますので、受講をご希望の方はお問い合わせください。

|     |           |          |          |            |
|-----|-----------|----------|----------|------------|
| I   | 新聞雑誌を読む会  | (栗山講師)   | 月1回・土曜午前 | 産貿センター     |
| II  | セレス・中級    | (栗山講師)   | 月3回・土曜午前 | 産貿センター     |
| III | マルガリータ・入門 | (高柳講師)   | 月3回・水曜午前 | 県民サポートセンター |
| IV  | ヒラソル・会話   | (ジュアン講師) | 月3回・水曜午前 | 県民サポートセンター |
| V   | クラベル・入門会話 | (ジュアン講師) | 月3回・水曜午後 | 県民サポートセンター |
| VI  | ヴィオレタ・初級  | (橘川講師)   | 月3回・水曜午前 | 県民サポートセンター |

■講 議 時 間 午前(10:30~12:00)、午後(13:30~15:00)

■問い合わせ先 スペイン語講座委員会担当 寺原瑛子

## ※※※※※※※※※※※※※※※※ IMFORMACION ※※※※※※※※※※※※※※※※

### ◆協会参与 柳貞子さんリサイタル

ー柳 貞子のタペー グラナードスのトナディーリャスと日本のうた

トナディーリャスとは、スペイン歌曲の最高傑作といわれるグラナードス作曲の歌曲集で、18世紀のマドリードの下町情緒をマホ(伊達男)とマハ(粋な女)の恋模様としてえがいた魅力あふれる歌曲集。スペイン歌曲の第一人者、柳貞子が心をこめて歌いあげる。

共 演：齋藤雅広(ピアノ) 山本邦山(尺八)

日 時：2000年11月16日(木) 19:00開演

場 所：王子ホール(銀座4丁目三越裏)

入場料：5,000円(但し、当協会会員に限り10% off/全席自由)

※チケット予約：TEL 042-734-5569

#### 【プログラム】

トナディーリャス全12曲より

ゴヤのマハ

悲しみにくれるマハ

トゥララとギターをつまびき

他

日本のうたより

ふるさと

宵待草

五木の子守唄

荒城の月 他

※CD同時発売 “愛しい日本のうたたち” (価格：2,800円)



## ◆スペイン語講師 『ジュアン・ドラド・ロペス氏写真展』開催のお知らせ

当協会のスペイン語教室講師、ジュアン・ドラド・ロペス氏の本職は写真家です。その彼の写真展が9月29日（金）より10月5日（木）まで、東京・市ヶ谷のフォトスペース光陽2（JR市ヶ谷駅より徒歩3分／光陽商事ビル3F）で開催されます。

テーマは“水晶宮—透明への希求—”で、マドリードのレティロ公園内にあるクリスタル・パレス修復工事の記録です。

この期間、東京へ出向く機会のある方は、ぜひご覧になってください。

## ◆協会会員 野呂妙子さんリサイタル

特別出演としてタンゴの本場アルゼンチンよりウーゴ・パガーノ楽団が来日、素晴らしいタンゴの世界に皆様をお連れしたいと思います。

日 時：2000年11月8日（水）開場18：00 開演18：30

場 所：簡易保険ホール（ゆうぽーと）五反田駅より徒歩5分

## ◆マリア・エステル・グスマン ギターリサイタル

『ギターの女王』が奏でる魅惑的なスペインの調べ。

共演 高木洋子（ピアノ）

日 時：2000年9月30日（土）開場17：30 開演18：00

場 所：神奈川県民小ホール

入場料：交流協会会員には4000円のところ、ペア券で7000円。

曲 名：アンダンテとアレグロ〜ヴァイオリンソナタ第2番より、ハンガリー幻想曲、ソナタ、アルハンブラの思い出、アストゥリアス、ある貴紳のための幻想曲。

主 催：プリマベラ 後援スペイン大使館 （株）現代ギター社 スペイン音楽こだまの会

※切符予約：プリマベラ045-893-7244 チケットぴあ03-5237-9990

## — 賛助会員各社の会員サービス内容 —

先般皆様のお手元にお届けした会員証を提示することで、下記の賛助会員各社より、各種のサービスを受けることができます。

| 賛 助 会 員       | 住 所                          | 電 話 番 号      | 会 員 サ ー ビ ス 内 容                                            |
|---------------|------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------|
| レストランオーリーブ    | 横浜市西区高島2-5-10                | 045-441-4996 | サングリアー杯                                                    |
| カサ・デ・フジモリ関内本店 | 横浜市中区相生町1-25                 | 045-662-9474 | サングリアー杯                                                    |
| Bar Español   | カサ・デ・フジモリ関内本店前               | 045-651-1074 | サングリアー杯                                                    |
| カサ・デ・フジモリ目黒店  | J R目黒駅（東京）徒歩5分               | 03-5420-5328 | サングリアー杯                                                    |
| アランフェス        | 横浜スカイビル11階                   | 045-442-0581 | サングリアー杯                                                    |
| アマポーラYokohama | 横浜ルミネ6階                      | 045-453-6851 | サングリアー杯                                                    |
| パラドル・デ・かまくら   | 江ノ電長谷駅そば                     | 0467-22-6798 | サングリアー杯                                                    |
| 太陽海外航空㈱       | 東京都中央区京橋2-2-14山陽アネックスビル      | 03-3281-2441 | 日本出入国カード作成料及び成田空港使用料を負担する                                  |
| JTB団体旅行横浜支店   | 横浜市中区相生町4-75<br>JTB、Y.N馬車道ビル | 045-664-2730 | ツアー料金割引（添乗員付だけ）ルックJTB、JTBエース各3%、旅行用品割引トラベランドにて10%割引特別カード進呈 |
| アトリエJUNE      | 横浜市神奈川区西神奈川1-6-1<br>サクラビル701 | 045-313-9417 | 押し花額制作代の通常価格から10%割引                                        |

### <編集後記>

記事にありますように「フィエスタ」が無事終了しました。まだまだ余韻が漂ってきそうですが、それだけにこの行事に寄せる意気込みが大きかった証拠ではないでしょうか。この気持ちを胸に、これからの協会を発展させていきましょう。

\* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内  
かながわ県民活動サポートセンター  
レターケースNo.184 横浜スペイン交流協会会報係